

学校図書館支援センター通信 145号

令和2年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

POP王！南行徳中学校 ポプラ社主催POPコンテストに挑戦！！ 令和元年度 2年生 国語科の実践から



全国25,000点を超える応募者の中から、南行徳中学校の生徒の作品が、POP王（1位）に選ばれました。現在、学校図書館の前に掲示されています。



POPが出来上がり
嬉しそうな先生と生徒

昨年度、南行徳中学校2年生の国語科の授業にて、POP作りに取り組みました。授業者の戸板教諭は、読書の楽しさを生徒同士が共有することや本の魅力を短い言葉で表現する力の育成を目的に、授業を組み立てました。生徒たちに「POPコンテストに挑戦する」という明確な目的を持たせたことで、一人一人の意欲が高まりました。

今回紹介する本は、南行徳中学校の学校図書館に蔵書している図書から選ぶようにしました。しかし、選書の段階で、どうしても自分が持っている本を紹介したいという強い希望があった場合には、自分の本でもよいこととしました。

まずは、作品を読み紹介する本を決めます。紹介する本の魅力を考え、その魅力が最大限に生かされるような言葉を吟味しました。思わず手に取りたくなってしまおうようなキャッチコピーになっているか、読んでみたいと思わせる文章になっているかなど、限られた文字数の中で表現しなくては行けないので、頭をフル回転させながら、生徒たちはPOPに書く文章を考えました。

こうして出来上がった200点以上の作品を、ポプラ社主催のPOPコンテストへ応募しました。POPの目的は、「足を止めてもらうこと」と意識して制作した生徒たちから、「本屋さんに行っても『POPがついている本』ばかりに目が行く」「本を選ぶ時に参考にするようになった」という声が聞かれました。今回の経験が、生活の中で生かされている様子が生徒たちから伝わってきました。コロナ禍で、校内の表彰式をまだ実施できていませんが、仕上がったたくさんの力作POPを学校図書館で披露する日は近いようです。

この学習をきっかけに、生徒たちはより読書が身近な存在となったのではないのでしょうか。

今回の授業で使用するために、学校司書が用意した参考資料

- 「プロに教わる1秒で心をつかむPOPの作り方」
出版/パイインターナショナル
- 「POP王内田剛さんのPOPづくりの極意（プリント）」
出典：三省堂書店ホームページに掲載資料



北方小学校では、毎年6月に「読書週間」、12～1月に「百人一首やってみよう月間」を行っています。

読書週間では、担任以外の先生による読み聞かせや読書ビンゴ、辞書引き大会などを行います。

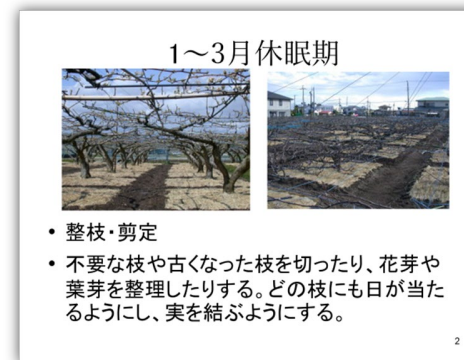
「百人一首やってみよう月間」では、休み時間など利用し百人一首をしていますが、帰宅後も公園に集まりシートを敷いて練習する児童もいるほどです。そのため決まり字で札をとれる児童も多く、百人一首大会はとても白熱します。

今年度は休校が長引き、例年通りの活動は難しくなるかもしれませんが、従来の形にとらわれず、心の栄養である「読書」を子ども達の世界に広げていけたらと思っています。

【市川市立北方小学校 学校司書 山本 まみ】

常勤学校司書連絡会作成

梨畑の1年 ～パワーポイント資料～



昨年度、常勤学校司書連絡会にて、小学校3年生の社会科の学習で活用できる「梨づくり」についての資料を作成していただきました。1年をかけて、「浅海文左衛門農園」へ取材に出かけて、資料をまとめました。豊富な写真と月ごとの仕事の様子がわかるパワーポイントの資料となっています。実際に梨畑に足を運ぶことが難しい学校でも、理解を深めるために、この資料が役に立つと思います。

「市内共有>99教育委員会>常用>【教育センター】学校図書館」の中に、データが保存してあります。資料が豊富ですので、授業の内容に合わせた資料を選んでご活用ください。

令和2年度文部科学省委託事業「学校図書館の振興に向けた調査研究」について

昨年度に引き続き「市川市立第七中学校」に推進協力校としてご協力いただき、学校図書館の活用についての調査研究を行います。市川市立第七中学校の取組につきましては、学校図書館支援センター通信にて、ご紹介していきます。今年度は、できることを一つずつ行っていければと思います。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

